

音楽による社会アクション  
El Sistema Connect



# Vision

音楽によるSOCIAL INCLUSION  
舞台から未来を創る



# Mission

Imagination

だれかの痛みを想像する力

Creation

枠を壊す力

Innovation

感動で人を興す力

# Values

- ◇Tocar,Cantar y Luchar ~奏でて、歌って、挑め~
- ◇子ども・アーティスト・社会をコネクトする
- ◇アクションとリアクション。未来を開拓するのは自分から。
- ◇できないは超できるの第一歩。見えないものを信じる力。
- ◇多数決が正解とは限らない。誰も置き去りにしない。
- ◇ひとりのストーリーがみんなをつなぐ宝物
- ◇自由であれ! 壁なんて最初からないんだ



代表理事  
コロン えりか

なぜ音楽なのか。

想像力は相手の痛みを感じとれるチカラ。創造力は枠を壊して新しいものを生み出すチカラ。「人間とは何か」を考えさせ、哀しい時は慰めを、嬉しい時には歓喜を分けてくれるのが音楽です。音楽は全ての人に開かれていて、「聞こえないから」と言って勝手に遮断して良いものではありません。人間の本质について「子どもだから」「障害があるから」わからないとは言えません。私は10歳の時難民さながら来日し、家庭・経済環境が厳しい中で育ちました。何度も先に進めないと思った時に、ドアを叩けば話を聞いてくれた人がいて、多くの稀有な出会いによって今の道を歩むことができました。もし音楽を通して詩や歴史、人間の本质と出会っていなければ私の人生や世界観は全く違うものになっていたでしょう。音楽はすべての子どもの権利。どんな子どもにも、尊い、響き合う魂があります。ベートーヴェンは「社会の進歩と自由こそ、芸術の真の目的である」と書き残しています。音楽を通して人間であること、関わりあうこと、学び合うことは平和の文化をつくることです。ホワイトハンドコーラスNIPPONは、挑戦を続けるアーティストたちと子どもたちが出会い、社会と芸術につながり、お互いに人生を学ぶ場所です。扉を叩いてみてください。運命の出会いが待っています。



◆ ホワイトハンドコーラスNIPPONの運営・出演

障害の有無や経済状況に関わらずどんな子でも参加できる合唱団「ホワイトハンドコーラスNIPPON」の活動を通じて、音楽の力でインクルーシブな社会の実現に取り組んでいます。

2021年には、NHKみんなのうた「ツバメ」の手歌バージョンに出演しました。番組史上初となる聴覚障害者による演奏を披露しました。



◆ 第九のきせき

ベートーヴェンの交響曲第九番『歓喜の歌』を合唱と共に手話で歌うライブパフォーマンスと、音楽を可視化する写真によって生み出された体験型のインクルーシブアート「第九のきせき」を展開しています。



◆ ポッシボの学校

インクルーシブ教育に関連して新しい学びの場を創出するオンライン講座と子育ての悩みを共有したり情報交換するオンラインコミュニティを2025年4月より開校。オンライン講座は企業のDEI担当者、クリエイティブ+インクルージョンに関心のある方、音楽関係者、教育関係者、表現者、福祉関係者などを対象としています。ポッシボは「Possible」という名前のイメージキャラクターにちなんだ名前です。



◆ 講演

音楽を通じてインクルーシブ教育を推進したいアーティストや教育関係者向けのファシリテーター養成講座や、全国の学校・企業・行政などでの講演を行なっています。また、学校向けに出張音楽教室も開催しています。



◆ ドキュメンタリー映画上映

エルシステマに所属するアーティストたちと音楽制作を行なっています。また、国際音楽祭や自治体、テレビ番組などのイベント企画・ディレクションを行なっています。



◆ 音楽制作

エルシステマ・コネクトでは、プロとして音楽を制作するお仕事を受注しています。収益事業を行うことによって、持続可能的に活動が続けられるだけでなく、インクルーシブな環境の可能性が価値になるということを社会に発信しています。

『花は咲く』

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンとのコラボ制作。東日本大震災で被災された方々の復興の活動を続ける方に、エルシステマ発祥の地ベネズエラからの応援の気持ちを込めたカバーソング。



- NHK「おあさんといっしょ」手話版エンディング制作
- 「Beethovenfest2024」オープニングコンサートの企画・指揮
- 「福岡市民芸術祭」第九コンサート企画
- 佐賀県江北町の手話フェスティバル 企画・展示

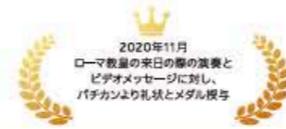




# 2019

# 2020

# 2021



2019						2020				2021									
4月	5月	6月	7月	9月	12月	4月	8月	9月	11月	12月	3月	4月	5月	8月	9月	10月	11月	12月	
● 一般社団法人システムズ・コネクト設立	● シモン・ホルバル音楽財団「エルシステム」本部と連携協力協定締結	● 日本エッセイクラブと連携協力協定締結	● エルシステム本部と協定、700家族を対象に日本エッセイクラブを開設	● エルシステム本部と協定、700家族を対象に日本エッセイクラブを開設	● エルシステム本部と協定、700家族を対象に日本エッセイクラブを開設	● 東京芸術劇場と共催協定締結	● 東京芸術劇場にてワークショップ開始	● オンライン専用型ワークショップの教材を年間100本以上制作	● 京都チーム発足	● ペネテラの音楽家との音楽制作事業開始	● ペネテラの音楽家との音楽制作事業開始	● スタンプ養成オンライン講座実施(8月まで全8回)	● 第九のきせき〜写真家田原真理子とのコラボ作品発表						

出来事

出演・写真展

- 東京芸術劇場「パッパコレギウム・ジャパン」クリスマススペシャルコンサート※2
- 東京芸術劇場「パッパコレギウム・ジャパン」田原真理子による写真展「第九のきせき」開催
- 東京芸術劇場「パッパコレギウム・ジャパン」東京2020オリンピックパラリンピック競技大会記念文化プログラム出演
- 東京2020オリンピック競技大会開会式出演
- 新国立劇場「Super Angels」※1
- ホワイトロード「エルシステム」対話の森ミッドラムコンサート
- Sic Ken Robinson「Imagine」
- フェスティバル「リキート」出演
- いずみホール「エルシステム」コンサート「出演※手数
- いしかわ・風と緑の音楽祭」出演
- 東京芸術劇場・京都大徳寺龍光院「配唱コンサート」出演
- 京都「ふれあいコンサート」出演
- 東京都交響楽団主催「サラザール音楽祭」リモート動画出演

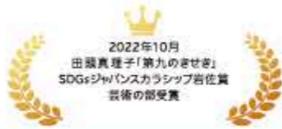
※1 市聴覚障害者ガブプロと一緒に新国立劇場オペラ出演は初 ※2 日本手歌座第九初演



- 《映画上映会》
- 3月30日 としま区民センター(東京)
  - 5月17日 としま区民センター(東京)
  - 5月21日 京都アスニー(京都)※プレパフォーマンスあり
  - 7月6日 としま区民センター(東京)
  - 7月22日 沖縄県立博物館・美術館(沖縄)※プレパフォーマンスあり
  - 9月29日 港区立男女平等参画センター リーブラホール(東京)
  - 10月21日 福岡市美術館ミュージアムホール(福岡)※舞台挨拶あり
  - 10月28日 沖縄市民小劇場あしびな(沖縄)※プレパフォーマンスあり
  - 10月29日 滋賀大学(京都・滋賀)※プレパフォーマンスあり
  - 11月3日 京都樟大大学アカデミックリンクス 3F(京都)
  - 11月18日 春日市ふれあい文化センター-旧館1階サンホール(福岡)



# 2022



# 2023



# 2024

4月	5月	8月	9月	11月	12月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

**出来事**

- 4月 『インクルーシブな未来を創る』制作
- 5月 『ミルとキクとポッシボ』制作
- 8月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 9月 『ホワイトボードコース』制作
- 11月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 12月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 3月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 4月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 5月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 6月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 7月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 8月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 9月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 10月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 11月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 12月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 2月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 3月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 4月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 5月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 6月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 8月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 9月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 10月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 11月 『おおかあさんといっしょ』制作
- 12月 『おおかあさんといっしょ』制作

**出演・写真展**

- 4月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 5月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 8月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 9月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 11月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 12月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 3月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 4月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 5月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 6月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 7月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 8月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 9月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 10月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 11月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 12月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 2月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 3月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 4月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 5月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 6月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 8月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 9月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 10月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 11月 『おおかあさんといっしょ』出演
- 12月 『おおかあさんといっしょ』出演

# 「ホワイトハンドコーラス」っていったいなに？

逆境をワクワクに変える新しい音楽のカタチ



# ぼくらは みんな うたうたい!

障害のある子ども、ない子ども、みんな一緒に世界でいちばんインクルーシブな合唱団  
ろう者、聴覚、全盲、弱視、車いすユーザー、自閉症の子どもも、経済的に困難している子どもも、障害のない子どもと一緒に音楽を奏でられる場所。目の見えない子は声で歌い、発声の難しい子は白い手袋をして歌の世界を表現することから、ホワイトハンドコーラスと呼ばれています。



## 起源は「エルシステマ」

1975年に南米ベネズエラ発祥、全世界で70の国と地域に広がった社会課題解決型の音楽教育プログラム。ベネズエラでは100万人以上の青少年が活動しています。すべての人が参加できる無料の音楽教室では、コミュニティ形成、インクルージョン、個人の尊厳、価値観、市民としての規範を含めた全人的な教育を行っています。「世界で最も成功した音楽プログラム」といわれています。



## 新しいアートへの広がり「第九のきせき」

ペーペー作曲交響曲第九番「歓喜の歌」を合唱と共に手話で歌うホワイトハンドコーラスNIPPONと、手話にインスピレーションを得て「第九」を光の軌跡で表現する写真家・田原真穂子との協働プロジェクト。光の軌跡を凸凹で表現する彫刻印刷で「惹かれる写真」として作品化し、「目でみる」写真展の領域概念を覆す新しいアートが誕生しました。インクルーシブな「第九のきせき」写真展は国内外で7回開催され、大きな反響を呼びました。



**Q** 手話ソング(手話歌) 手歌の違いは何ですか?  
**A** 歌詞の音韻を手話で翻訳して表現する手話ソング(手話歌)は、学校の授業にも取り入れられ、SNSで目にする機会が多くなりました。私たちが「手歌」と表現しているものには理由があります。日本語の音韻に当たる「日本語対応手話」ではなく、ろう者が日常的に使う「日本語」を使っていることです。また、私たちは歌いながら手話を表現するのではなく、サイン隊は顔の表情や体の動きが必要な手歌に集中します。日本語は発音の文法と視覚表現としての特色を持っています。ろう者の文化や、日本語区の特徴を最大限に活かし、歌詞から感じる豊潤を含めた表現に翻訳することが大切です。ろう者と共に編み出した表現、それが手歌なのです。

**Q** 聞こえない子は どうやって リズムをとるのでしょうか?  
**A** 指揮者のリードのもと、楽器の伴奏や声帯の響きを全身で感じながらリズムをとります。練習しているうちに、聞こえる子も聞こえない子も、見える子も見えない子も、声とサインを両方使って共に音楽を楽しめるようになります。

**Q** どんな曲を歌いますか?  
**A** ホワイトハンドコーラスNIPPONでは、CMまでたくさんオリジナルソングや既存曲を歌ってきました。クラシックやポップス、海外発祥などジャンルもさまざま。日本語の曲が多いですが、ロープの交響曲第九番「歓喜の歌」は、声隊はドイツ語で、サイン隊もドイツ語手話に翻訳した手話でチャレンジしました。

**Q** 手話は誰が つくるのですか?  
**A** みんなでディスカッションしながら歌詞を翻訳し、音楽と歌詞から浮かぶ想像を手の動きや表情の表現で落とし込めます。みんなが納得できるまで、子どもも大人も熱心な意見や交流しながら突き詰めていきます。全員で思いを込めて歌うために、ホワイトハンドコーラスNIPPONが特に大切にしている部分です。

**Q** 練習はどのように 行っていますか?  
**A** 毎週日曜日に集まり、声楽や手話パフォーマンスの第一線で活躍する先生の指導のもとで練習に励んでいます。遠くに来られないメンバーはオンラインで参加します。

### ホワイトハンドコーラスNIPPON東京

東京芸術劇場との共催事業として、毎週日曜日に東京芸術劇場の練習室でワークショップを開催しています。自宅や病院などからでも参加できるように、オンラインも繋いでいます。

- 活動場所：東京芸術劇場
- 活動日：主に日曜日の午後



### ホワイトハンドコーラスNIPPON京都

大徳寺の龍光院のご協力を頂き、お寺に集まったり、オンラインを活用しながら練習を続けています。メンバーは東京での公演に参加するために、東京のメンバーの家にホームステイをするなど各地でも披露の機会を得ています。また、京都女子大学と協力協定を結んで共に活動したり、滋賀大学ともコラボ企画でパフォーマンスをしたりしています。

- 活動場所：大徳寺龍光院、京都女子大学
- 活動日：日曜日の午後、時々土曜日



### ポッシボ会議

大切なことはメンバーみんなで決める  
ホワイトハンドコーラスNIPPONのメンバーを中心に、子どもと大人が一緒になってインクルーシブな社会をつくるアイデアを議論するポッシボ会議を月1回開催しています。エルシステマ・コネクトの運営に関する重要な意思決定をポッシボ会議で判断することもあります。行動の指針となる7つのValue (P2)も、子どもたちがディスカッションして決定しました。

#### ポッシボ会議のルール

- ・参加は自由
- ・途中入室、途中退室オッケー!
- ・お腹空いたらご飯食べてもオッケー!
- ・満月の夜。(月1回開催)
- ・子どもも大人も立場は対等

手話通訳、議長、副議長、書記、チャットでフォロー係も、子どもと大人が対等な立場でボランティアとして手伝います。子どもが書記や議長、手話通訳を担当することもあります。



### 実績

観客動員数

30,941名

無料ワークショップ開催数

519回

メディア掲載数(TV、新聞、ラジオ、雑誌)

112

※2020-2024年度

ファンクラブ会員数(マンスリーサポーター)

168名

### ホワイトハンドコーラスNIPPONをモデルに生まれた絵本『ミルとキクとポッシボ』

目の見えない男の子、ミル。耳の聞こえない女の子、キク。そして、記憶障害と発達障害のあるホワイトライオンの神様、ポッシボ。そんな3人が繰り広げる物語が読み聞かせムービーとなって配信されています。





**友達と一緒に  
リズムに乗れると楽しい!**

Yさん(サイン隊メンバー)

ホワイトハンドコーラスに入っていちばん嬉しかったのは、**友達が増えたこと。友達がいるから歌をがんばろうと思える。**リズムが楽しい感じの歌が好き。友達と一緒にリズムに乗れると楽しいから。みんなで練習をして、NHKの番組に出られてすごくよかった。ウィーンのコンサートも特別な日だった。ウィーンの写真展の時に、中学生だけで抜け出して街に買い物に行ったことは忘れられない。(伝統的のろう者が使ってきた)日本手話はとても大事だと思う。**もっと手話でおしゃべりしたい。**声隊もサイン隊も新しいメンバーが入ったら、手話でどんどんお話ししていきたい。



**無意識に“鼻手歌”を  
歌っています**

Yさんの保護者

軽い気持ちで見学に訪れたホワイトハンドコーラスでしたが、**こんなに本気になるのは思いもよりませんでした。**続いている理由は大きく3つあると思います。第一にホワイトハンドコーラスがYを認めてくれる場所であること。先生も、年長の仲間も、Yのありのままを受け入れて接してくれます。第二に歌が単に歌詞を手話に訳した“手話ソング”ではなく、言葉のイメージを表現する手歌になっていること。第三にろう者演劇の第一人者であるプロの先生に指導してもらえること。そのおかげで、耳が聞こえないYにも、**歌うという表現が楽しくて自然なものになったようです。**時々無意識に手を動かして、鼻歌ならぬ“鼻手歌”を歌っています。歌を通じてかけがえのない仲間ができ、日常に楽しみができたことは、Yにとって大きな喜びだと思います。



**みんなで音楽をつくる  
楽しさを味わえる**

Mくん(声隊)

新国立劇場でのオペラ、沖縄での公演、オーストリア国会議事堂でのパフォーマンスなど、たくさんの大舞台で歌う機会をいただけて嬉しいです。はじめは本番のたびに緊張したけれど、今はいつも堂々と歌えるようになりました。数年の経験ですいぶん変わりましたね。**うまく歌えるようになること、歌を聴いてもらえることは大きなやりがい**です。でも、ホワイトハンドコーラスを続けている理由は、**素直に「楽しいから」というのが本音かな。**僕は目が悪いけれど、趣味は車窓からの風景を眺めるために電車に乗ることだし、写真を撮るのも好き。実は見るってことを人一倍楽しんでます。ホワイトハンドコーラスは、**どんな障害があっても、みんなで音楽をつくる充実感を思いっきり味わえる場**です。だから、僕は楽しく続けているんだと思います。たとえ障害があっても、やりたいことを諦めない。どんな人もやりたいことにチャレンジできる社会に少しでも近づけるように、僕はホワイトハンドコーラスに取り組んでいきたいです。



**本当に社会を動かすことが  
できるなんて**

Mくんの保護者

中2のMは遠方の親元を離れて、東京にある盲学校の寮で暮らしています。2週間に1度、金曜日に飛行機で帰省しても、ホワイトハンドコーラスNIPPONの練習に参加したいと日曜日の早朝には東京へと戻っていきます。少し寂しくもありながら、やりたいことに取り組み、会うたびに大きく成長しているMを誇らしく感じています。ホワイトハンドコーラスNIPPONは、決して我が子が参加しているからではなく、**障害をもっている子たちがやっているからでもなく、子どもたち一人ひとりがプロとして本当に心を動かすパフォーマンスを見せてくれます。**私は障害をもつ子の親として、社会をもっとよくしたいと思いがちでも無力感にうちひしがれることが多かった。けれど、Mは「**どんな人もやりたいことにチャレンジできる社会になるように**」という信念でホワイトハンドコーラスNIPPONの活動に打ち込み、**実際にみんなと一緒に、わずかもかもしれないけれど間違いなく社会をいい方向に動かしています。**親として微力ながらホワイトハンドコーラスNIPPONに関わり、社会を動かす一員となれていることを嬉しく感じると共に、子どもたちに貴重な機会を提供し見守ってくださっているたくさんの方々に感謝いたします。



**歌っていても  
楽しさが違うんです!**

Aさん(声隊)

小1の時に、盲学校に通っている兄がチラシをもらってきたのがきっかけでホワイトハンドコーラスNIPPONに参加しました。それまで身近には兄以外に障害を持つ人がいなかったし、幅広い年代の子と一緒に活動する場は初めてだったので、**こういう世界があるのかと驚きました。**練習に参加しているうちにだんだん楽しくなってきて、合宿や遠征に行くようになったら一気にみんなと仲良くなれて、**私にとって大切な場所になりました。**学校の授業は音楽の技術を習っている感じ。ホワイトハンドコーラスは歌詞の意味を一つひとつ理解しながら**みんなで音楽をつくり上げている感じがするから、歌っていても楽しさが違うんです。**これまでの7年間は、先生たちに導いてきてもらったけど、これから新たに入ってくる小さな子たちを私が先輩として引っ張っていけるようになります。



**みんながほどよい距離感で  
付き合えるコミュニティです**

Aさんの保護者

初めはお兄ちゃんの影に隠れるように過ごしていたAも、見違えるようにたくましく成長しました。一人ひとりに向き合った懇切丁寧な指導と、信じられないくらいの大舞台を経験させてもらった充実した7年間でした。また、ホワイトハンドコーラスNIPPONが子どもはもちろん、**保護者にとってもおびのびできる心地いい場所**であることも、子どもの大きな成長を促していると思います。障害をもつ子の親は世間の厳しい目にさらされ、数々の困難を乗り越えてきています。ホワイトハンドコーラスNIPPONでは**どんな障害があっても対等に付き合うことができ、弱者だからと助けすぎることもなければ、本当に困っているのに放置してしまうこともありません。**子どもも大人も、**みんながほどよい距離感で、自然体で付き合える**かけがえのないコミュニティだと思っています。



**また大好きな歌の世界に戻ることができました**

あーりんさん(声隊)

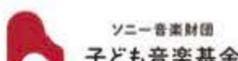
高校時代に合唱部にいました。でも、コンクール至上主義の休みなく厳しい練習を強いられるうちに、いつしか自分の声を聴きたくない、自分の声が恐ろしいという状態になってしまったんです。歌いたくはないけれど表現には興味があったので、手話パフォーマンスにチャレンジし始めた時、ホワイトハンドコーラスNIPPONと共演したのをきっかけに、練習を見学しに行きました。そこで私の歌に対する意識が180度変わったんです。代表のえりかさんの絶対に子どもたちを否定せず、ほめて伸ばす指導法に感銘を受けました。えりかさんは**音楽の楽しさを愛する気持ちを全力で育んでくれます。**子どもたちの生き生きとした様子を見ていたら、いつの間にか声が増えてくることなく一緒に楽しく歌っている自分がありました。数年ぶりのことですが、私は普段、車いすを必要としています。ホワイトハンドコーラスNIPPONではいろんな障害を持った仲間が、**障害なんて関係なく元気に活動しています。**私も「車いすだから…」という考え方はもうやめました。「歌ってもいい」と教えてもらったように、世の中に「やってもいい」を増やせるように少しでも力になれば、と思います。障害のありなしの間には壁があるし、障害の種類の間にも壁があります。そのような壁が一切なくなって、**誰もが純粋に人と人との関係として接することができる社会になればいいな。**そう思っています。



協賛企業

 <p>東京冷機工業株式会社</p>	 <p>日光ケミカルズ株式会社</p>	 <p>明治安田生命保険相互会社</p>	 <p>公益財団法人石橋財団</p>
 <p>株式会社さわかみホールディングス</p>	 <p>三井住友信託銀行株式会社</p>	 <p>キッコーマン株式会社</p>	 <p>宗次ホール</p>
 <p>東京銀座ロータリークラブ</p>	 <p>オムロン株式会社</p>	 <p>キヤノン株式会社</p>	

助成

 <p>独立行政法人国際交流基金</p>	 <p>ドイツ連邦共和国大使館</p>	 <p>公益財団法人ノビアグリーン財団</p>	 <p>一般社団法人東京倶楽部</p>
 <p>黒田スマイルエコ福祉基金 (公益財団法人日本フロンソロピック財団)</p>	 <p>めばえーる事業(京都市)</p>	 <p>ソニー音楽財団 子ども音楽基金</p>	

<h1>2020</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 東京新聞「土曜訪問」(8月8日)</li> <li>・新聞 朝日新聞(8月24日)</li> <li>・新聞 長崎新聞「時の鐘」(10月6日)</li> <li>・新聞 毎日新聞(11月26日)</li> <li>・新聞 毎日小学生新聞※一面掲載(11月28日)</li> <li>・新聞 北国新聞(12月13日)</li> <li>・新聞 富山新聞(12月19日)</li> <li>・TV TOKYO MX「大使館晩餐会」(5月11日放送)</li> <li>・TV BSテレ東「おんがく交差点」(10月10日放送)※コロナで手歌披露</li> <li>・TV 北陸放送(12月19日放送)</li> </ul>	<h1>2023</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 沖縄タイムス 子ども新聞「声と手豊かに歌う」※一面掲載(1月22日)</li> <li>・新聞 東京新聞「ドキュメンタリー映画30日後で上映」(3月28日)</li> <li>・新聞 徳島新聞 障害の有無にかかわらず「第九」合唱(4月18日)</li> <li>・新聞 京都新聞 / 有料記事 障害のある子どもと子の合唱団を描く映画上映(5月19日)</li> <li>・新聞 京都新聞「手歌で奏でる人類愛映画」(5月20日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス「手歌」の喜びを知って 22日県博で映画上映会(7月7日)</li> <li>・新聞 琉球新報 沖縄で映画上映会(7月9日)</li> <li>・新聞 京都新聞 合唱団運営団体 京女大と連携協定(8月3日)</li> <li>・新聞 朝日新聞「自信を持つろう者に学んだ手話スピーチコンテスト」(8月31日)</li> <li>・新聞 中日新聞「音楽を楽しみ人権を考える」(9月3日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス「手歌 フィンで披露へ」(2023年9月13日)</li> <li>・新聞 琉球新報「京年2月ウイーン公演へホワイトハンドコーラス手話と合唱で」(9月13日)</li> <li>・新聞 毎日新聞「手」で歌う合唱、分断をつなぐ ホワイトハンドコーラスNIPPON(9月20日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス【京都大学】11月3日「たねばな文化の日」開催(10月11日)</li> <li>・新聞 毎日新聞 web/朝刊 天国のペーター・ベーンに届ける第九 聴覚障害の子どもたちがつむぐ手歌(12月23日)</li> <li>・新聞 読売新聞 夕刊 東京の合唱団「第九」手話フィン公演 作曲200年 歌は壁越え(12月26日)</li> </ul>
<h1>2021</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 うたごえ新聞 コロナスリかインタビュー(2月8日)</li> <li>・新聞 うたごえ新聞 コロナスリかインタビュー(2月15日)</li> <li>・新聞 うたごえ新聞 コロナスリかインタビュー(2月22日)</li> <li>・TV NHK Eテレ NHK for School「u&amp;i」きこえないってかわいそう? ※井崎哲也(監修)、水野冬馬(手話通訳・出演)</li> <li>・TV NHK総合「未来スイッチ」▽音楽教育で社会に調和を(3月26日、4月1日放送)</li> <li>・TV TOKYO MX「日曜はカラフル」(4月11日放送)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元紙 滋賀県人権啓蒙推進課 じんけんフェスタ出演の記事掲載</li> <li>・専門誌 「ぶらあぽ」(4月号)「ホワイトハンドコーラス NIPPON Freude! よろこびの歌」 完成発表記者会見 <a href="https://bravo.jp/archives/139847">https://bravo.jp/archives/139847</a></li> <li>・専門誌 「ぶらあぽ」(8月号)</li> <li>・機関紙 東京都豊島区「とっぴい」Vol.19(5月号)</li> <li>・雑誌 「詩とファンタジー」第46号「ファンタスティックなうた」(7月発行)</li> <li>・年鑑 Beethoven Haus 2023-2024 表紙含め20ページに田頭真理子写真掲載</li> <li>・書籍 「暗闇ラジオ対話集」志村季世恵×コロナスリか対談</li> <li>・ラジオ BAYFM78「あしたの音楽」</li> <li>・ラジオ NHK ラジオ「聴れない貴方へ」コロナスリかインタビュー(4月16日放送)</li> <li>・ラジオ J-WAVE「LOHAS TALK」(4月10日~13日放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」お正月特番 手話で歌おうゆき(1月1日~5日放送)</li> <li>・TV TOKYO MX newsFLAG「聴覚の少年が国際音楽祭に挑戦」(7月11日放送)</li> <li>・TV RBC琉球放送 障がい問わず「一緒に生きる」を学ぶ場(7月20日放送)</li> <li>・TV 琉球朝日放送「山の日」全国大会イベント 大宮味村で開催(8月11日放送)</li> <li>・TV 琉球放送 つなごう沖縄 SDGs プロジェクト(8月18日放送)</li> <li>・TV 琉球朝日放送 ホワイトハンドコーラス 今後の活動について報告(9月12日放送)</li> <li>・オンライン 日本財団ジャーナル「ホワイトハンドコーラス」が具現化する共生社会</li> <li>・オンライン 第一美術 DAM 歌いながらいこう!</li> </ul>
<h1>2022</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 朝日新聞「手で奏でる歌 広がる」(9月22日)</li> <li>・新聞 京都新聞「『手歌』と声 ハーモニー」(9月13日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス「ベネズエラ発祥合唱団始動 参加募る」(9月3日)</li> <li>・新聞 読売新聞「全盲合唱団名譽団員に」※読売オンライントップ掲載(3月13日)</li> <li>・新聞 朝日新聞「第九のきせき」体験型写真展開催(3月13日)</li> <li>・新聞 毎日新聞「第九のきせき」体験型写真展開催(4月4日)</li> <li>・新聞 京都新聞「第九のきせき」体験型写真展開催(4月4日)</li> <li>・新聞 朝日新聞「手話で見て聞く『教書のうた』」(5月12日)</li> <li>・雑誌 教育芸術社「bouquet [ブーケ]」第16号(10月末発行)</li> <li>・雑誌 全国社会福祉協議会出版部『保育の友』1月~6月号巻頭メッセージ連載</li> <li>・ラジオ BAYFM78「あしたの音楽」(5月5日放送)</li> <li>・ラジオ ラジオ日本「小鳩の愛-eye」(こぼとのあい)(12月17日、24日放送)</li> <li>・ラジオ BAYFM78「あしたの音楽」(12月27日放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「あおきいろ」#8 (3月30日より複数回放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「みんなのうた」ツバメ手歌バージョン(4月3日より複数回放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」手話で歌おう「きらきらぼし」(8月1日放送)</li> <li>・オンライン FNNプライムオンライン「聞こえない子どもたちが「音楽を表現する」 「きせき」のホワイトハンドコーラスとは」フジテレビ解説委員 鈴木歌</li> </ul>	<h1>2024</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 徳島新聞 朝刊 手話と歌声で「教書の歌」ウイーンで聴覚・視覚障害の子ども合唱団指導者「いつか初演地・徳島で」(3月6日)</li> <li>・新聞 佐賀新聞「第九」の喜び「主歌」で(11月26日)</li> <li>・新聞 埼玉新聞「手と声で歌うクリスマス「ホワイトハンド」公演」(11月26日)</li> <li>・新聞 秋田さきかけ新聞「「ホワイトハンド」クリスマスを「手歌」で歌う」(11月28日)</li> <li>・新聞 山梨日日新聞「手、声で歌うクリスマス 都内で来月コンサート」(11月29日)</li> <li>・新聞 長崎新聞「手でも歌うクリスマス」(12月1日)</li> <li>・新聞 朝日新聞(夕刊)(12月5日)</li> <li>・新聞 朝日新聞デジタル「あの震災後、自分は歌に救われた ソプラノ歌手・コロナスリかの思い」(12月5日)</li> <li>・新聞 日本農業新聞 井崎先生インタビュー、江北町でのイベント給食の様子(12月12日)</li> <li>・ラジオ FM NORTH WAVE</li> <li>・ラジオ NHKラジオ「Nらじ」コロナスリかゲスト出演(12月20日)</li> <li>・TV テレビ神奈川 手と表情で「見える音楽」届ける合唱隊 沖縄の舞台へ〜 前編 後編〜(1月18日)</li> <li>・TV 琉球朝日放送 ニュース CATCHY できる!を伝えるホワイトハンドコーラス(1月18日)</li> <li>・TV NHK Eテレ 見える「第九」をペーター・ヴェーンに届けたい(5月5日)</li> <li>・TV 岡山放送 岡山・香川ニュース ウイーンで開催 「ゼロ・プロジェクト・カンパレンス」OHKの「リアフリー活動など紹介(2月24日)</li> <li>・TV(総合)国際報道「見える第九をペーター・ヴェーンに届けたい」(12月27日)</li> <li>・オンライン FNNプライムオンライン「声障」と「サイン障」で音楽にバリアは無いことを証明… 世界が認めたインクルーシブ団体「ホワイトハンドコーラスNIPPON」(3月13日)</li> <li>・オンライン FNNプライムオンライン 写真から美しい「音楽」が…アートやテクノロジーの力で 世界のバリアゼロを目指す人々がウイーンに集結(6月22日)</li> </ul>

## 2020年

ローマ教皇の来日の際の演奏とビデオメッセージに対し  
パチカンより、令状とメダル授与

## 2021年

京都市から「はぐくみ憲章」の実践団体として  
「はぐくみアクション賞」受賞

## 2022年

田頭真理子「第九のきせき」  
SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞芸術の部受賞

## 2023年

KIDS DESIGN賞「子どもの創造力と未来を拓くデザイン」部門受賞  
国連障害者権利条約を世界に啓蒙する国際機関  
ゼロプロジェクトよりZero Project Award 2024受賞

## 2024年

京都新聞福祉奨励賞受賞

## 2025年

やなせたかし文化賞受賞

# DVD

## 文部科学省選定作品【DVD】映画

「ホワイトハンドコーラス NIPPON Freude! よろこびのうた」

¥4,400

一般財団法人さわかみ財団とEl Sistema Connect(エルシステマ・コネクト)が共同制作したドキュメンタリー映画です。2021年12月21日、ホワイトハンドコーラスNIPPONが東京・池袋の東京芸術劇場で行われた世界的古楽オーケストラ、パッサ・コレギウム・ジャパンのクリスマス・コンサートに出演するまでの模様が収められています。



ホワイトハンドコーラスNIPPONは、楽譜代や月謝などの費用負担なく、誰でも音楽を学ぶことができる場です。皆さんからのご支援は、私たちの活動を支える大きな力です。現在、参加希望者も増えていて、子どもの様々な体験や手話通訳、教室運営に関わる費用を捻出するために応援の輪を広げていく必要があります。ぜひ応援よろしくお願いします!

## マンスリーサポーター（継続寄付/ファンクラブ会員）

活動の様子をサンキューメールで毎月ご報告すると共に、  
スペシャル動画をお届けします。



## スポットサポーター（単発寄付）

まずは一度のご寄付から。お好きな金額をお選び  
いただけます。クレジットカード/電子決済/銀行振込  
をご利用いただけます。



## ふるさと納税

東京都中央区へのふるさと納税を通して当団体へご寄付  
いただくことで、税額控除を受けることができます。



## 企業版ホワイトハンドコーラス年間サポーター

協賛いただいた企業のロゴ掲載、出張企業研修、ボランティア受入、  
子どもたちとの共同プロジェクトを行なっております。皆様の温かい  
ご支援のおかげで、私たちは子どもたちと一緒に、インクルーシブな  
未来を創造する社会アクションを起こすことができます。

info@elsistemaconnect.or.jpまでお問い合わせください。



## ポッシボのがっこう

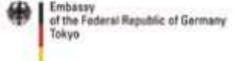
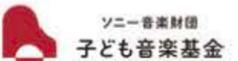
学んで応援。ポッシボ校長先生の下、誰もがチャレンジ  
できる機会を創出するオンラインスクールです。



協賛企業

 <p>東京冷機工業株式会社</p>	 <p>日光ケミカルズ株式会社</p>	 <p>明治安田生命保険相互会社</p>	 <p>公益財団法人石橋財団</p>
 <p>株式会社さわかみホールディングス</p>	 <p>三井住友信託銀行株式会社</p>	 <p>キッコーマン株式会社</p>	 <p>宗次ホール</p>
 <p>東京銀座ロータリークラブ</p>	 <p>オムロン株式会社</p>	 <p>キヤノン株式会社</p>	

助成

 <p>独立行政法人国際交流基金</p>	 <p>ドイツ連邦共和国大使館</p>	 <p>公益財団法人ノエビアグリーン財団</p>	 <p>一般社団法人東京倶楽部</p>
 <p>黒田スマイルエコ福祉基金 (公益財団法人日本フィランソロピー財団)</p>	 <p>めばえーる事業(京都市)</p>	 <p>ソニー音楽財団 子ども音楽基金</p>	

<h1>2020</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 東京新聞「土曜訪問」(8月8日)</li> <li>・新聞 朝日新聞(8月24日)</li> <li>・新聞 長崎新聞「時の鐘」(10月6日)</li> <li>・新聞 毎日新聞(11月26日)</li> <li>・新聞 毎日小学生新聞※一面掲載(11月28日)</li> <li>・新聞 北國新聞(12月13日)</li> <li>・新聞 富山新聞(12月19日)</li> <li>・TV TOKYO MX「大使館晩餐会」(5月11日放送)</li> <li>・TV BSテレ東「おんがく交差点」(10月10日放送)※コロナで手紙披露</li> <li>・TV 北陸放送(12月19日放送)</li> </ul>	<h1>2023</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 沖縄タイムス 子ども新聞「声と手紙に歌う」※一面掲載(1月22日)</li> <li>・新聞 東京新聞「ドキュメンタリー映画30日発売で上映」(3月28日)</li> <li>・新聞 徳島新聞 障害の有無にかかわらず「第九」合唱(4月18日)</li> <li>・新聞 京都新聞 / 有料記事 障害のある子どもとない子の合唱団を描く映画上演(5月19日)</li> <li>・新聞 京都新聞「手紙で奏でる人権愛映画に」(5月20日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス「手紙」の喜び知って 22日県博で映画上映会(7月7日)</li> <li>・新聞 琉球新報 沖縄で映画上映会(7月9日)</li> <li>・新聞 京都新聞 合唱団運営団体 京女大と連携協定(8月3日)</li> <li>・新聞 朝日新聞「自信を持つろう者に学んだ手紙スピーチコンテスト」(8月31日)</li> <li>・新聞 中日新聞「音楽を楽しむ人権を考える」(9月3日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス「手紙 ウィーンで披露へ」(2023年9月13日)</li> <li>・新聞 琉球新報「来年2月ウィーン公演へホワイトハンドコース手紙と合唱で」(9月13日)</li> <li>・新聞 毎日新聞「手」で歌う合唱、分断をつなぐ ホワイトハンドコースNIPPON(9月20日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス【京都大学】11月3日「九つ文化の日」開催(10月11日)</li> <li>・新聞 毎日新聞 web/朝刊 天国のペーターベンに届ける第九 聴覚障害の子どもたちがつむぐ手紙(12月23日)</li> <li>・新聞 読売新聞 夕刊 東京の合唱団「第九」手紙ウィーン公演 作曲200年 歌は響きえ(12月26日)</li> <li>・地元紙 滋賀県人権啓蒙推進課 じんけんフェスタ出演の記事掲載</li> <li>・専門誌 「ぶらあば」(4月号)「ホワイトハンドコース NIPPON Freude! よろこびの歌」完成発表記者会見 <a href="https://ebravo.jp/archives/139847">https://ebravo.jp/archives/139847</a></li> <li>・専門誌 「ぶらあば」(8月号)</li> <li>・機関紙 東京都豊島区「とっぴい」Vol.19(5月号)</li> <li>・雑誌 「詩とファンタジー」第46号「ファンタスティックなうた」(7月発行)</li> <li>・年鑑 Beethoven Haus 2023-2024 表紙含め20ページに田原真理子写真掲載</li> <li>・書籍 「贈るラジオ対話集」志村孝世恵×コロナで対談</li> <li>・ラジオ BAYFM78「あしたの音楽」</li> <li>・ラジオ NHK ラジオ「聴れない貴方へ」コロナで対談(4月16日放送)</li> <li>・ラジオ J-WAVE「LOHAS TALK」(4月10日~13日放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」お正月特集 手紙で歌おう「ゆき」(1月1日~5日放送)</li> <li>・TV TOKYO MX newsFLAG「聴えない少年が国際音楽祭に挑戦」(7月11日放送)</li> <li>・TV RBC琉球放送 障がい問わず「一緒に生きる」を学ぶ場(7月20日放送)</li> <li>・TV 琉球朝日放送「山の日」全国大会イベント 大宜味村で開催(8月11日放送)</li> <li>・TV 琉球放送 つなごう沖縄 SDGs プロジェクト(8月18日放送)</li> <li>・TV 琉球朝日放送 ホワイトハンドコース沖縄 今後の活動について報告(9月12日放送)</li> <li>・オンライン 日本財団ジャーナル「ホワイトハンドコース」が具現化する共生社会</li> <li>・オンライン 第一興産 DAM 歌いながらいこう!</li> </ul>
<h1>2021</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 うたごえ新聞 コロナで対談インタビュー(2月8日)</li> <li>・新聞 うたごえ新聞 コロナで対談インタビュー(2月15日)</li> <li>・新聞 うたごえ新聞 コロナで対談インタビュー(2月22日)</li> <li>・TV NHK Eテレ NHK for School「u&amp;i」きこえないってかわいそう? ※井崎哲也(監督)、水野冬馬(手話通訳・出演)</li> <li>・TV NHK 総合「未来スイッチ」▽音楽教育で社会に調和を(3月26日、4月1日放送)</li> <li>・TV TOKYO MX「日曜カラフル」(4月11日放送)</li> </ul>	<h1>2022</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 朝日新聞「手紙で奏でる歌 広がる」(9月22日)</li> <li>・新聞 京都新聞「『手紙』と声 ハーモニ」(9月13日)</li> <li>・新聞 沖縄タイムス「ベネズエラ発祥合唱団始動 参加募る」(9月3日)</li> <li>・新聞 読売新聞「全賞大会合唱団名簿発表に」※読売オンライントップ掲載(3月13日)</li> <li>・新聞 朝日新聞「第九のきせき」体験型写真展開催(3月13日)</li> <li>・新聞 毎日新聞「第九のきせき」体験型写真展開催(4月4日)</li> <li>・新聞 京都新聞「第九のきせき」体験型写真展開催(4月4日)</li> <li>・新聞 朝日新聞「手紙で見て聞く『教書』のうた」(5月12日)</li> <li>・雑誌 教育芸術社「bouquet」第16号(10月末発行)</li> <li>・雑誌 全国社会福祉協議会出版部『保育の友』1月~6月号巻頭メッセージ連載</li> <li>・ラジオ BAYFM78「あしたの音楽」(5月5日放送)</li> <li>・ラジオ ラジオ日本「小場の愛-eye」(こぼとのあい)(12月17日、24日放送)</li> <li>・ラジオ BAYFM78「あしたの音楽」(12月27日放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「あおきいろ」#8(3月30日より複数回放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「みんなのうた」ツバメ手紙/フージョン(4月3日より複数回放送)</li> <li>・TV NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」手紙で歌おう!「きらきらぼし」(8月1日放送)</li> <li>・オンライン FNN プライムオンライン「聴こえない子どもたちが「音楽」を表現する」</li> <li>・「きせき」のホワイトハンドコースとは? フジテレビ解説委員 鈴木歌</li> </ul>
	<h1>2024</h1> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 徳島新聞 朝刊 手紙と歌声で「教書の歌」ウィーンで聴覚・視覚障害の子どもら合唱団指揮者「いつか初演地・徳島で」(3月6日)</li> <li>・新聞 佐賀新聞「第九」の喜び「主歌」で(11月26日)</li> <li>・新聞 埼玉新聞「手や声で歌うクリスマス「ホワイトハンド」公演」(11月26日)</li> <li>・新聞 秋田ききかけ新聞「ホワイトハンド」クリスマスを「手紙」で歌う(11月28日)</li> <li>・新聞 山梨日日新聞「手、声で歌うクリスマス 都内で来月コンサート」(11月29日)</li> <li>・新聞 長崎新聞「手でも歌うクリスマス」(12月1日)</li> <li>・新聞 朝日新聞(夕刊)(12月5日)</li> <li>・新聞 朝日新聞デジタル「あの震災後、自分は歌に救われた ソプラノ歌手・コロナで歌いたい」(12月5日)</li> <li>・新聞 日本農業新聞 井崎先生インタビュー、江北町でのイベント船倉の様子(12月12日)</li> <li>・ラジオ FM NORTH WAVE</li> <li>・ラジオ NHKラジオ「N6」コロナでゲスト出演(12月20日)</li> <li>・TV テレビ神奈川 手と表情で「見える音楽」届ける合唱団 沖縄の舞台へー 前編 後編(1月18日)</li> <li>・TV 琉球朝日放送 ニュース CATCHY「できる」を伝えるホワイトハンドコース(1月18日)</li> <li>・TV NHK Eテレ「見える第九」をペーターベンに届けたい(5月5日)</li> <li>・TV 岡山放送 岡山・香川ニュース ウィーンで開催 「ゼロ・プロジェクト・カンパニオ」OHKの「リアフリー」活動など紹介(2月24日)</li> <li>・TV(総合)国際報道「見える第九をペーターベンに届けたい」(12月27日)</li> <li>・オンライン FNN プライムオンライン「声障」と「サイン障」で音楽に「リア」は無いことを証明… 世界が認めたインクルーシブ団体「ホワイトハンドコースNIPPON」(3月13日)</li> <li>・オンライン FNN プライムオンライン 写真から美しい「音楽」が…アートやテクノロジーの力で世界のバリアゼロを目指す人々がウィーンに集結(6月22日)</li> </ul>

一般社団法人 El Sistema Connect  
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-3 RISHEビル4F  
info@elsistemaconnect.or.jp